

お告げのマリア修道会



まごころ会

発行：お告げの
マリア修道会
2022年8月
TEL.095-846-8300

『わたしは主のはしためです。』

お言葉どおり、この身になりますように。』

「世界平和のためのロザリオ」



長崎大司教区では、「平和旬間」(8月6日～15日)に合わせて、毎日一連ずつロザリオの祈りを唱えましょうと呼びかけています。心を合わせて祈りましょう。

8月6日(土)【広島の被爆者のために】

77年前、広島に落とされた原子爆弾は全てを灰燼に帰しました。十字架の道を歩み続けるために主の栄光の姿を先駆けて示してくださいました神によって、私たちが主の姿に創造される恵みを願います。

8月7日(日)【核兵器廃絶を願って】

同じ信仰を生きるものであっても、自己の主張に固執すると分裂が生まれます。核のない世界を実現するために、本来あるべき姿を謙虚に受け入れることができる恵みを願います。

8月8日(月)【平和の担い手となるように】

キリストを信じる者に真の信仰を伝え、ロザリオの祈りを広めた聖ドミニコ司祭の取り次ぎによって、私たちキリスト者がキリストの愛を生きることによって、まことの平和を実現する担い手となるよう願います。

8月9日(火)【長崎の被爆者のために】

信仰の街長崎に原爆が落とされて77年。極限状態の中でなお、信仰の道を歩み続けた聖テレサ・ベネデイクタおとめ殉教者に励まされつつ、決して滅びることのない価値を知り得た者として、この現代社会の中で信仰を生きる意味を見出すように願います。

8月10日(水)【感染症に苦しむ世界のために】
困苦欠乏する人々のために自らが焼き尽くされることをいとわなかった聖ラウレンチオ助祭殉教者の取次ぎによって、感染症の不安と混乱に直面しているすべての人に、支援の手が差しのべられるように願います。

8月11日(木)【戦争や内乱の終結を願って】

世界のあらゆるところで繰り広げられる戦争や内乱。本当の意味での争いの原因を見つめ、戦争や内乱を終える勇気と英知を願います。

8月12日(金)【自然災害・原発事故の被災者のために】

命のパンである主が、大地震・豪雨などの自然災害や原発事故で被災され、心と身体に傷を負い、今も不安と悲しみのうちにある人々を顧み、まことのいのちの糧で養って下さるよう願います。

8月13日(土)

【一人ひとりが争いのない社会をつくるように】

歴史に学ぶ謙虚さを与えて下さい。教会の中にも分裂があり、社会に対して証しになりません。信仰に立ち返り、争いのない社会を実現するために必要な恵みを願います。

8月14日(日)

【ウクライナと全世界の平和を願って】

アウシュビッツの聖人コルベ神父は、収容所で囚人たちを常に励まし、ともに祈っていました。今、戦争の苦しみにあるウクライナそして全世界が平和になるために、聖人に倣って歩むことができるように祈りましょう。

8月15日(月)【大戦で犠牲となった方々のために】

歴史の中で奇しくもかわりを示された母マリア。「終戦の日」は、あなたが御子の傍らで栄光をお受けになる祝日です。77年前のような過ちを二度と犯すことがないように私たちを導いて下さい。かけがえない命を失った多くの方々の安息を願います。